



人の保護で 人に感謝状

前橋署



「た」生夜会長の外処（外）さん（16）は「ビックカメラの選手と一緒に配ることでみんながはつらつとしていた」と語った。
あいおいニッセイ同和損保の代理店、ライズ総合保険（同市岩押町）が企画。同損保群馬支店の社員も協力した。
（中村悠海）

前橋

重大事故を未然に防いだとして、前橋署は24日、前橋市の同署で警備員の分地恵理敏さん（33）
Ⅱ安中市、写真左Ⅱに感謝状を贈った。

分地さんは8月5日夜、前橋市内を車で移動中に道路上に倒れていた男子高校生を発見。車を止めて高校生を安全な場所まで移動させ、母親が到着するまで付き添った。高校生はその後、市内の病院に搬送され、擦り傷や打撲などの軽傷と診断された。
分地さんは「当然のことをした。困っている人がいたら、周囲が助けてくれるような世の中になってほしい」と話し、堀越浩昌署長は「的確な判断で負傷者を救っていただき感謝している」と述べた。
（高橋和真）



相続の基礎知識学ぶ

終活セミナーに
市内外50人参加

高崎

相続手続支援センター群馬は、高崎市問屋町のビエント高崎で終活セミナーを開催した。「専門用語を使わない相続講座」と題し、市内外の約50人に相続の基礎知識について説明したⅡ写真。

センター職員が財産の配分法や遺言書の必要性、相続に関するトラブルを紹介。近年は遺族が故人の携帯電話の暗証番号が分からず、困惑するケースが増えていることも伝えた。

敬老の日に合わせて開催。中沢淳一センター長は「自分の財産状況や税金がどれくらいかかるか確認し、子と話し合うきっかけにしてほしい」と話した。（中村悠海）

信号機復旧や 倒木除去確認

太田署が災害警備訓練



太田

台風や豪雨による出水期を前に対処能力を高めようと、太田署は太田市の同署周辺で災害警備訓練を行った。署員30人が停電時の信号機復旧や倒木除去などに取り組んだ。

同署近くの交差点で信号機の電源を一時切り、参加者は備品の発電機をつないで復旧させる手順を確認し

万場小児童、啓発CD贈る 藤岡署に



神流

神流万場小（山田真由美校長）の児童が交通安全を呼びかける啓発用CDが完成し、藤岡署（田中員豊署長）に寄贈した。神流町や同署は秋の全国交通安全運動（30日まで）に合わせ、町内を巡るパトカーや広報車で流す。

同町の同校で贈呈式が行われ、代表児童が川島雅司交通課長に音源を手渡し、記念撮影したⅡ写真。CDには「早めにライトを点灯しましょう」「反射材を身につけましょう」といった子どもたちのメッセージが入っている。
啓発用CDの作成は町と同署が協力し、毎年行っている。
（深沢千尋）